

平成 29 年 11 月 7 日 (火)  
愛知県環境部自然環境課  
野生生物・鳥獣グループ  
担当 大橋、石原  
内線 3068、3098  
ダイヤル 052-954-6230

名古屋港管理組合  
港営部港営課  
担当 米津  
ダイヤル 052-654-7871  
総務部危機管理課  
担当 清水  
ダイヤル 052-654-7813

## 名古屋港におけるヒアリの確認について

本日午後 1 時に、環境省中部地方環境事務所から、平成 29 年 11 月 6 日 (月) に名古屋港鍋田ふ頭 (弥富市) において発見された 7 個体のアリについて、専門家による種の同定の結果、特定外来生物であるヒアリ (*Solenopsis invicta*) と確認されたとの連絡がありましたので、お知らせいたします。

当該ヒアリは、11 月 6 日に浜松市浜北区の事業者敷地内の貨物からヒアリが確認されたことを受けて、当該貨物を運送したコンテナを返却先である鍋田ふ頭で調査した際に発見したものです。

確認された個体については、発見時点で既に死亡しており、発見地点付近において、ベイト剤 (殺虫餌) 及び粘着トラップを設置しています。

### 1. 経緯等

- 11 月 2 日 静岡県浜松市浜北区内の事業者敷地内でヒアリが発見された貨物を積載していたコンテナ (1 個) が名古屋港鍋田ふ頭のバンプール\*へ返却されていたため、本バンプールにおいてバンプール管理者等が、当該コンテナの燻蒸消毒を実施し、周辺にベイト剤 (殺虫餌) 及び粘着トラップを設置。  
※ バンプール： 空コンテナを集積・保管・蔵置し、受け渡しを行なう場所
- 11 月 6 日 名古屋港管理組合及びバンプール管理者等が当該コンテナ (1 個) 内部を確認したところ、7 個体のアリの死骸を発見。11 月 2 日に当該コンテナの周辺に設置した粘着トラップを名古屋港管理組合が回収したところ、ヒアリと疑わしいアリは発見されず。
- 11 月 7 日 専門家が、名古屋港鍋田ふ頭で発見した疑わしいアリ 7 個体をヒアリ (働

きアリ)と確認。

## 2. 今回の確認されたヒアリについて

確認されたヒアリは、働きアリ 7 個体で、発見時点で既に死亡しておりました。現段階では発見地点周辺から、ヒアリ等と疑わしいアリは確認されていません。環境省は、現時点ではヒアリが、鍋田ふ頭のヒアリ発見地点周辺に定着・繁殖している可能性は低いと考えています。

## 3. 今後の対応

県環境部と名古屋港管理組合は、中部地方環境事務所、弥富市と連携を図り、ヒアリの侵入の水際での防除に万全を期していきます。

県では Web ページによりヒアリに係る注意喚起を行うとともに、環境部自然環境課に県民の皆さまからの問合せ窓口を設け、情報収集を行います。

また、引き続き、名古屋港管理組合は、鍋田ふ頭を始めとする名古屋港のコンテナターミナル等の調査を行うとともに、港湾関係者への注意喚起等を行います。

なお、環境省は、県、弥富市、名古屋港管理組合等と協力し、ヒアリ確認地点の周辺 2 km 程度の調査を実施する予定です。

## 4. 周辺住民等の皆様へ

### (1) 注意点について

- ・ヒア리를刺激すると刺される場合があります。
- ・ヒアリが生息している可能性があるような場所（緑地帯の土や芝生の土等）には安易に手をいれないようにしてください。
- ・ヒアリと疑われるような個体や巣を見つけた際は、刺激（ア리를踏もうとしたり、巣を壊したり等）しないでください。

### (2) 刺されたときの対応について

- ・まずは安静（20～30 分程度）にし、容体が急激に変化することがあれば、最寄りの病院を受診してください
- ・受診の際は、「アりに刺されたこと」「アナフィラキシー（重度のアレルギー反応であること）の可能性のあること」を伝えてください。

**※ヒアリは強い毒を持つため、生きた個体を素手で触らないようにしてください。**

【写真】今回発見されたヒアリ



写真提供：環境省

【地図】今回ヒアリが確認された場所

